

聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリアヘルスケアセンターでは、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて許可されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしい場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

① 研究課題名	回復期リハビリテーション病棟において短下肢装具を処方された脳卒中片麻痺患者の自立歩行の要因			
② 実施予定期間	承認日～2018年10月			
③ 対象患者	初発の脳卒中患者で、当院回復期リハビリテーション病棟に入院し、病前歩行自立でプラスチック短下肢装具（P-AFO）を処方された片麻痺患者45名			
④ 対象期間	2014年10月～2017年10月			
⑤ 研究機関の名称	聖マリアヘルスケアセンター			
⑥ 対象診療科	リハビリテーション科			
⑦ 研究責任者	氏名	大塚 渉	所属	ヘルスケアセンターリハビリテーション室
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 年齢、性別、疾患名、麻痺側、発症日、入院日回復期、リハビリテーション起算日、Br.stage、高次脳機能障害の有無、入院時移乗動作能力、発症前歩行能力、入院時FIM、P-AFO作製日、病棟内歩行自立日、退院日			
⑨ 研究の概要	脳卒中片麻痺患者において、自立歩行の獲得は重要な課題であります。そのために、発症早期から装具の必要性を判断して、機能に適した装具を装着しての歩行訓練の実施が必要であります。回復期リハビリテーション病棟において、集中的に歩行訓練を実施しても自立に至らない症例もあり、監視または介助下での歩行に留まる症例も多数存在します。今回、当院回復期リハビリテーション病棟に入院し、プラスチック短下肢装具（P-AFO）を処方された脳卒中片麻痺患者を対象に、病棟内歩行が自立した群と自立に達しなかった群に分類して比較検討を行い、歩行能力の予後予測の一助とします。			
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2018年4月13日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	研究結果については学会等において発表予定です			
⑬ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際も、個人を特定できる情報は使用せず、特有の番号で管理します。学会で発表する場合も個人を特定できる情報は使用しません。			
⑭ 知的財産権	聖マリアヘルスケアセンターに属します			
⑮ 研究の資金源	特にありません			
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリアヘルスケアセンターリハビリテーション室 大塚 渉			
	電話	0942-35-5522	FAX	0942-34-3216